

事業名	つながりサポート事業
事業の趣旨・目的	誰にも相談ができずに孤立している人や、就労や就労前の段階となる社会へのつながりを回復するために利用者がひと息つく事ができ、次のステップへ進むための学びや、情報交換ができる場の提供を行いながら、ケースによっては相談機関や関係団体の情報提供や支援につなげる。 電話や窓口での相談が日常的に困難な人で相談につながっていないケースがいまだ数多く存在している可能性があることから、行政の相談窓口だけでは行き届かない細やかな対応ができるようSNSやメール等の会話（相談）ができるツールを増やすことで、困りごとやその人の背景に寄り添い、必要な支援へとつなげる。
事業内容	・女性同士が互いに情報交換したり支えあうことのできるピアサポートを開催。（年80回） ・他の行政機関やNPO等関係団体の支援窓口へ同行するなど、連携した支援。 ・他の行政機関や団体と連携して実施する合同相談会（年2回） ・相談等の一環として、生理用品の提供。 ・SNS等を活用したイベント周知や相談支援。 ・ハローワークと連携した就労サポート。 ・スタッフのエンパワーメントやスキルアップ研修（3回） ・つながりサポート事業を利用した女性の住まいの地区や関心事、ニーズ等の地区別統計を行い、事業がどこまで市民に浸透しているか、今後の事業展開に活用する。
事業効果及び効果検証の概要	・困難な状況にありながら、支援につながっていない女性が必要な支援へとつながる。 ・ピアサポートを活用することにより、女性が自分ひとりで困難や孤独を抱える必要がないことに気づくとともに、自分の経験や知恵を他の困っている人のために役立てることで、安心感や自己肯定感を持つことにつながる。 ・女性用品の配布により、受け取る女性が自らの心身の健康について主体的に考え行動できるようになる。
目標達成度及び達成状況に対する評価	【目標】配偶者等からの暴力の相談窓口を知っている人の割合（60%）【実績】29% →本市が毎年実施している市民満足度調査項目として設定している指標で、令和6年度時点では51%に達したものの、令和7年度の調査結果で29%と前年度を下回りかつ、設定した目標値60%に対しても半分以下であり、実質的に目標達成が大きく見送られた状況となったため。 【目標】つながりサポート事業の利用者数（3,000人）【実績】3,849人 →目標である利用者数3,000人を超えており、悩みを抱える女性の居場所として定着してきているため。
今後の課題	悩みを抱える女性の居場所は一部の利用者に定着している一方で、利用者の高齢化が進んでおり若年層の参加が少ないため、多様な年代に対応できる支援体制の強化が必要であり、そのためには地域特性を踏まえ、開設施設外での活動や的を絞ったアウトリーチ活動を展開していくことが課題となってる。